

阿蘇市狩尾地区の農業用水路の復旧作業を開始



2016年5月20日

ここ阿蘇市はお米の栽培も盛んなのだそうです。「水の国・熊本」といわれるように、豊富な湧き水を利用してお米を育てている農家さんもいらっしゃいます。本来であればGW中に田植えをすることが多く、この時期、田んぼには水が張ってあるそうですが、私たちが阿蘇市に入った時、水が張ってある田んぼはほとんどありませんでした。

理由のひとつは、この地震で田んぼに水を送る用水路に亀裂が入り、水が送れなくなっていること。お米は「今」植えられないと今年の収穫がない。がっくりと肩を落とす農家さん。「亀裂が入った用水路に応急処置としてモルタルで埋めよう！」と活動を開始しています。

震災後、田んぼの中から地下水が湧きだした場所が何箇所もありました。田植えへの影響は少ないものの、重機が田んぼに入れないことなど、様々な理由から稲刈りもできず、もちろん新たな田植えができない状況があります。

「震災前には農業での収入があったが、家屋が全壊し、もう田植えも諦めていた…。そのような時にボランティアの皆さんのおかげで片付き、もう諦めようと思っていた田植えを再会しようと思えた」活動を通じて有難い感謝の言葉をいただきました。

阿蘇では、甚大な被害を受けて明日が見えない状況の方々はまだ多くいらっしゃいます。

復興へはまだ時間を要すると思われます。一つでも多く、被災地の皆さんのお力になれるよう、ユナイテッド・アースは邁進していきます。

